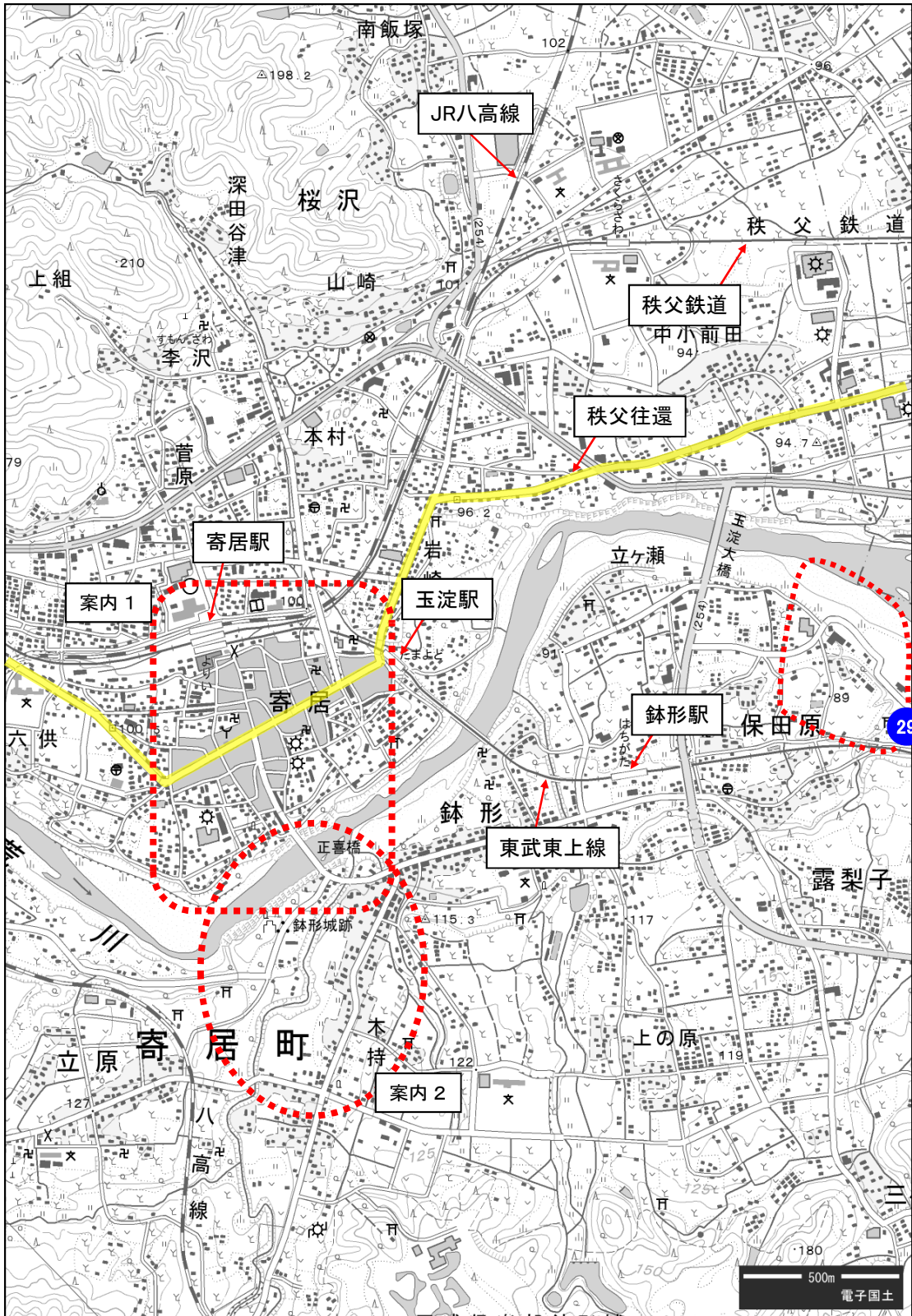


寄居



案内図

 調査範囲

寄居



凡例



史跡・寺社等

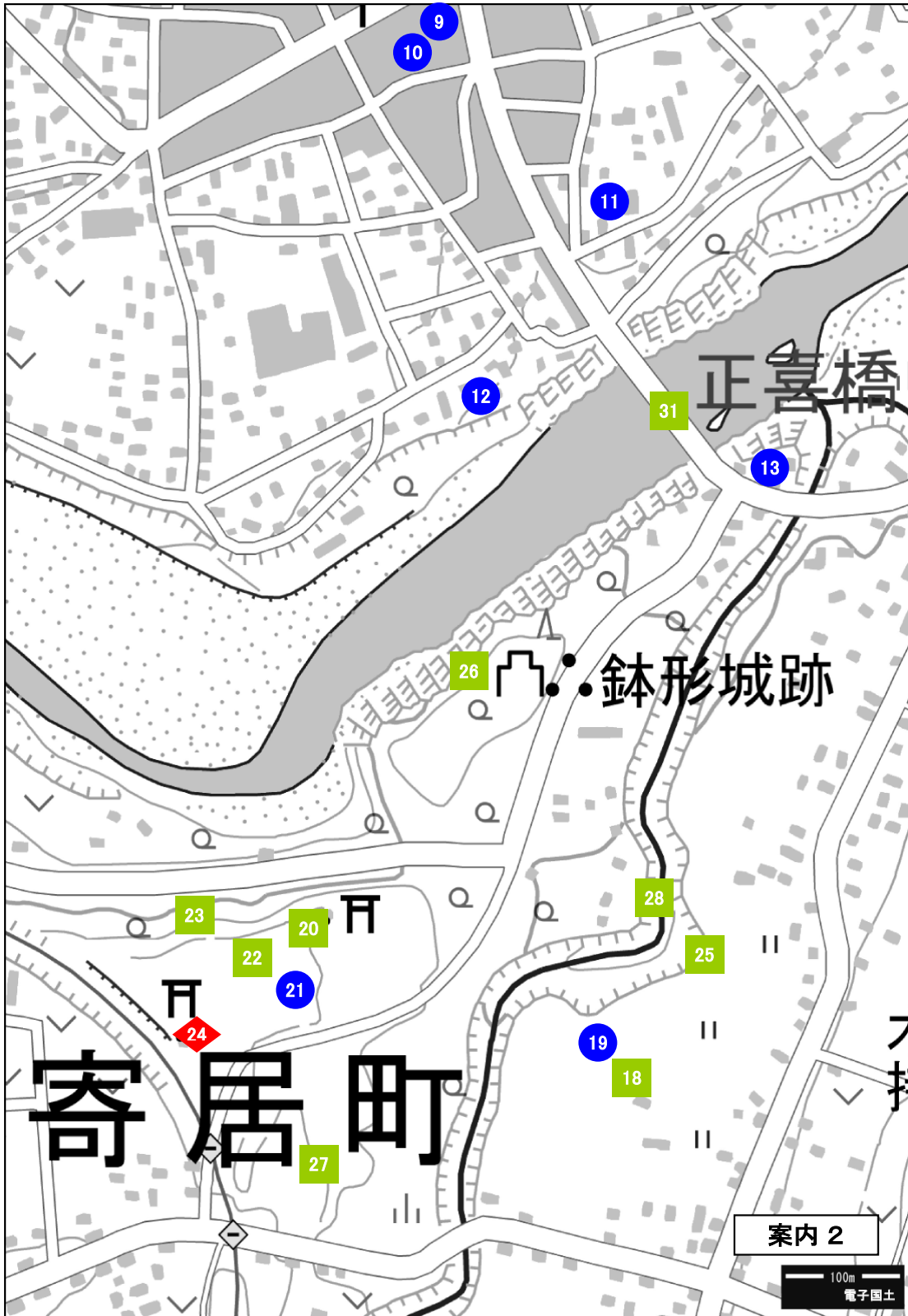


その他の建造物



通り・広場・樹木他

寄居



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

寄居



川と湖、山地と丘陵、そして肥沃な平野という変化にとんだ地勢に恵まれ、荒川の扇状地に位置する寄居。秩父と熊谷・江戸を結ぶかつての交通の要で宿場町として、また、戦国時代には、北条氏が治めた城下町としても栄えた。往時の隆盛を忍ばせる史跡・寺社仏閣が町全体に数多く点在する「歴史の町」でもある。

<p>1 玉淀駅</p>	<p>2 埋蔵文化財保管所</p>	<p>3 店舗</p>
		
<p>昭和8年開業。レトロな木造の駅舎は、懐かしい。一度廃止となるが、昭和22年に再開業。駅を降りるとそのまま延びるのが県道296号線で、歴史ある建築物が残る町並みが目を和ませる。</p>	<p>木造建築の旧熊谷裁判所寄居出張所。大正15年築、一時寄居町役場として使用された。</p>	<p>地域に愛されるお茶屋さん。</p>
<p>4 店舗</p>	<p>5 酒蔵</p>	<p>6 旅館</p>
		
<p>現在の店舗は隣に。通りの両脇の街並みを見ても、この一角だけが6mほどセットバックされている。</p>	<p>創業280年の歴史をもつ造り酒屋。現代風の店構えと対照に裏手には昔ながらの酒蔵が並ぶ。</p>	<p>明治8年創業の宿。現在の建物は、大正期に建替えられ、昭和に入って増築もされている。昔ながらの旅籠の雰囲気は是非感じてほしい。</p>

7	店舗	8	歯科	9	店舗
					
<p>レトロモダンな看板建築の建物。小さな建物がツタに覆われていて雰囲気がある。</p>		<p>当時の開業医の医院兼住居の理想ともいえる美しく上品な建物。玄関の深い庇を支える特徴的な意匠の柱は、現代でも通用する手法である。</p>		<p>県道296号と30号との交差点。目を瞑ると寄居町の商店街の隆盛が浮かんでくる様…そんな雰囲気のある呉服屋さん。</p>	
10	店舗	11	病院	12	店舗
					
<p>昭和初期創業の料理屋。木造商家特有の建物ではあるが、2階からのはき出しのモルタル塗りのバルコニーは、大きくて存在感がある。</p>		<p>木々に囲まれた閑静な病院。様式の違う2棟続きの建築で、左半分をレトロな曲線のRC造。右半分は大正ロマンたど洋風木造建築。</p>		<p>浅草オペラの創始者で、作詞・作曲家の佐々木紅草さんが別荘にするために自ら図面を描いて建てられた。戦時中は皇族の疎開先にもなった。鮎料理といえば”ココ”というくらい有名。池波正太郎も愛したという。</p>	
13	店舗	14	浄心寺	15	放光院
					
<p>鉢形城址内瀬手に位置する蕎麦屋。鉢形城址にちなんだメニューの他、蕎麦を使ったお土産も豊富。</p>		<p>武州寄居十二支本尊霊場の一つ。閑静な住宅地にあり、目を瞑ると童たちの遊ぶ姿が浮かんでくる。そんなノスタルジックでこじんまりとしたお寺。</p>		<p>武州寄居十二支本尊霊場の一つ。小路のつきあたりにひっそりとあった。山門までの小路には、地元へ愛される小さな飲食店が並ぶ。</p>	

16	蔵	17	街並み	18	鉢形城公園:冠木門
					
<p>蔦の絡まる蔵。 商家建築の裏手には、高さのある蔵が点在していた。 蔦が程よく絡まり、商店街を眼下に凜として見据える。</p>		<p>江戸時代の寄居は、城下町としての一面と、西に位置する現在の秩父の絹織物を熊谷や江戸へと運搬する宿場町としても重要な地点であった。今もその名残の商家建築が県道296号沿いに点在する。</p>		<p>歴史館の手前に聳える門は復元されたものである。</p>	
19	歴史館	20	二の曲輪廻り	21	三の曲輪 四脚門
					
<p>2004年10月オープン。 鉢形城公園南東に位置し、外観はコンクリート打ち出しの近代的でシンプルな意匠の建築物である。</p>		<p>二の曲輪の土塁は、実際よりも低めに復元。 柵が木で作られているのは高ポイント。 水平な平地であり、美しいまま維持されているのは、地元立原祭り保存会の尽力に他ならない。</p>		<p>立派にそびえる門は復元したもの。曲輪全体を覆うものではなく、景色を見通せる造りになっているため、広さが際立つ。</p>	
22	石積土塁	23	城跡から荒川を望む	24	諏訪神社
					
<p>鉢形城公園内に石積みの土塁がある。復元ではあるが、労力が人力であった頃を偲び、時を越え尊敬せずにはいられない。</p>		<p>城下を望む三の曲輪からは対岸の山々、荒川、寄居町市街地の全貌が眼下に広がる。</p>		<p>鉢形城公園の一角に祀られる神社。しっとりとした空気感、高い杉林にひっそりと在る。</p>	

25	土手	26	田山花袋の碑	27	中立(なかだち)
					
<p>鉢形城公園の西に位置するあたりに、高さ1mほどの土手が走る。</p>		<p>荒川と深沢川に挟まれた断崖絶壁の上、城の本曲輪に位置する本丸にふさわしい場所に碑が立っている。</p>		<p>雑木林から抜けると広々とした原に小さな丘がある。かつてここには池があり、その真ん中に位置する中立には、弁天様が祀られていた。</p>	
28	-1 深沢川の自然林	28	-2 深沢川の溪流	29	さいたま川の博物館
					
<p>荒川と一時的にほぼ平行に流れる深沢川は鉢形城公園の西脇に位置する。北側から東を囲む荒川と深沢川の2本に挟まれていることで、鉢形城を天然の要塞へと造り上げている。</p>		<p>溪流を上から見てもわかるほどのきれいな水がさらさらと流れている。川幅は所々長短あるがほぼ1m位。自然のせせらぎは、無償に浄化作用をもたらしてくれる恵みである。</p>		<p>川や水に親しみ、楽しみながら学べる参加体験型の博物館。観覧車に見えるのは国内2番目に大きな水車で直径23mある。</p>	
30	静かな通り	31	荒川の眺め		
					
<p>寄居駅南口から、東へ寄居町の商工会館へ向かう通り沿いには、古き良き商店や民家が並ぶ。自動車の往来も少ない細い道ゆえ、駅の近くではあるが、静かで温かい雰囲気だ。</p>		<p>埼玉県寄居町は風光明媚である。山や川が鮮やかでみずみずしい。正喜橋の橋上にて川を拝すれば、とても涼やか。車を降りて眺めて観るのも一興。</p>			